



## 2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月8日

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4996 URL <https://www.kumiai-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山田幸司 (TEL) 03-3822-5036  
 四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	130,395	22.6	14,109	36.4	18,717	15.9	14,480	30.9
2022年10月期第3四半期	106,334	20.1	10,342	50.3	16,153	78.9	11,063	74.5

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 18,659百万円(45.4%) 2022年10月期第3四半期 12,829百万円(272.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	120.44	—
2022年10月期第3四半期	91.67	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	219,684	137,028	59.3
2022年10月期	204,604	121,995	56.4

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 130,336百万円 2022年10月期 115,468百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	8.00	—	14.00	22.00
2023年10月期	—	18.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	24.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	169,000	16.3	17,100	34.9	21,500	△8.8	16,700	2.3	138.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年10月期3Q	133,184,612株	2022年10月期	133,184,612株
② 期末自己株式数	2023年10月期3Q	12,857,960株	2022年10月期	13,026,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年10月期3Q	120,226,666株	2022年10月期3Q	120,689,180株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料につきましては、2023年9月8日(金)に、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行などによる経済活動の正常化を受け、景気は緩やかな回復を続けております。一方で、欧米や中国を中心とした海外の景気減退の可能性や、原油価格の高止まり等に伴う燃料や原材料価格の高騰、及び地政学的リスクの高まり等により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような情勢の下、当社グループにおきましては、2021年10月期を初年度とする中期経営計画「Create the Future ～新たな可能性へのチャレンジ～」を推進し、企業価値の向上に向けた重点施策の遂行に全力で取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、化成品事業の販売が減少したものの、農薬及び農業関連事業の海外向けの販売が好調に推移したこと、また、燃料や原材料価格の高騰を踏まえて販売価格の改定を実施したことなどにより、130,395百万円、前年同期比24,061百万円(22.6%)の増加となりました。営業利益は、14,109百万円、前年同期比3,767百万円(36.4%)の増加となりました。経常利益は、為替差損が計上されたものの、持分法による投資利益が増加したことなどにより、18,717百万円、前年同期比2,563百万円(15.9%)の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、14,480百万円、前年同期比3,416百万円(30.9%)の増加となりました。また、海外向け売上高の割合は60.3%となりました。

セグメントの概況につきましては以下のとおりです。

セグメント	2022年10月期 第3四半期			2023年10月期 第3四半期			前年同期比	
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高 (増減率 %)	営業利益 (増減率 %)
農薬及び 農業関連事業	百万円 82,145	% 77.3	百万円 10,372	百万円 106,763	% 81.9	百万円 14,533	百万円 24,618 (30.0)	百万円 4,160 (40.1)
化成品事業	18,533	17.4	676	16,598	12.7	314	△1,934 (△10.4)	△361 (△53.5)
その他	5,657	5.3	518	7,035	5.4	609	1,378 (24.4)	91 (17.6)
計	106,334	100.0	10,342	130,395	100.0	14,109	24,061 (22.6)	3,767 (36.4)

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)1,223百万円が含まれております。

2. 当第3四半期連結累計期間のセグメントの営業利益には、調整額として主に各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)1,347百万円が含まれております。

## ① 農薬及び農業関連事業

国内向けは、水稲用殺菌剤「ディザルタ」を含む箱処理剤、水稲用除草剤「エフィーダ剤」の販売が好調に推移しましたが、販売先の在庫調整の影響により出荷が減少したことから、前年同期並みとなりました。

海外向けは、畑作用除草剤「アクシーブ剤」がアルゼンチンでの外貨不足による輸入制限や、ブラジルの農薬市場全体の流通在庫適正化の影響などにより、両国向けの出荷が減少したものの、北米を中心にその除草効果の高さと良好な市場環境による需要の増加から出荷が大幅に伸びました。

以上の結果、農薬及び農業関連事業の売上高は106,763百万円、前年同期比24,618百万円(30.0%)の増加となりました。営業利益は14,533百万円、前年同期比4,160百万円(40.1%)の増加となりました。

## ② 化成品事業

中国等の景気減速により半導体の需要が低迷したため、ビスマレイミド類や一部のクロロキシレン系化学品の出荷が減少しました。

以上の結果、化成品事業の売上高は16,598百万円、前年同期比1,934百万円(10.4%)の減少となりました。営業利益は314百万円、前年同期比361百万円(53.5%)の減少となりました。

## ③ その他

物流事業が堅調に推移したことに加え、建設業において前期からの繰越工事の進捗により大幅な売上増となった結果、その他全体の売上高は7,035百万円、前年同期比1,378百万円(24.4%)の増加となりました。営業利益は609百万円、前年同期比91百万円(17.6%)の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は219,684百万円で、前連結会計年度末に比べ15,080百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券、建設仮勘定ならびに現金及び預金が増加したこと等によるものです。

負債は82,656百万円で、前連結会計年度末に比べ47百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加が支払手形及び買掛金、未払金ならびに未払法人税等の減少を上回ったこと等によるものです。

純資産は137,028百万円で、前連結会計年度末に比べ15,033百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金ならびに為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

自己資本比率は59.3%、1株当たり純資産は1,083円19銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の通期の連結業績予想は、2023年6月6日に公表いたしました「2023年10月期第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,300	25,199
受取手形、売掛金及び契約資産	49,702	48,644
商品及び製品	38,411	40,388
仕掛品	10,250	11,616
原材料及び貯蔵品	7,531	9,031
その他	4,748	3,310
貸倒引当金	△107	△25
流動資産合計	132,836	138,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,992	14,458
機械装置及び運搬具(純額)	10,018	9,846
土地	12,389	12,416
建設仮勘定	5,006	8,098
その他(純額)	1,739	1,730
有形固定資産合計	43,145	46,547
無形固定資産		
のれん	3,419	2,922
その他	1,412	1,235
無形固定資産合計	4,831	4,158
投資その他の資産		
投資有価証券	21,038	27,878
長期貸付金	318	317
繰延税金資産	1,061	1,139
退職給付に係る資産	77	66
その他	1,465	1,582
貸倒引当金	△166	△165
投資その他の資産合計	23,793	30,817
固定資産合計	71,768	81,522
資産合計	204,604	219,684

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,985	15,992
短期借入金	22,653	38,549
未払金	8,678	4,623
未払法人税等	4,765	1,109
賞与引当金	1,713	866
環境対策引当金	394	337
その他	3,680	5,035
流動負債合計	62,868	66,511
固定負債		
長期借入金	12,280	9,252
繰延税金負債	1,398	1,258
役員退職慰労引当金	488	362
環境対策引当金	210	—
退職給付に係る負債	4,394	4,358
資産除去債務	42	42
その他	929	873
固定負債合計	19,741	16,145
負債合計	82,609	82,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	37,403	37,467
利益剰余金	86,649	97,425
自己株式	△9,370	△9,239
株主資本合計	119,216	130,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,485	1,755
為替換算調整勘定	△5,121	△1,517
退職給付に係る調整累計額	△112	△90
その他の包括利益累計額合計	△3,748	148
非支配株主持分	6,527	6,692
純資産合計	121,995	137,028
負債純資産合計	204,604	219,684

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上高	106,334	130,395
売上原価	80,625	100,179
売上総利益	25,709	30,217
販売費及び一般管理費	15,366	16,108
営業利益	10,342	14,109
営業外収益		
受取利息	34	91
受取配当金	162	600
持分法による投資利益	1,305	5,604
為替差益	4,259	—
貸倒引当金戻入額	83	66
その他	120	289
営業外収益合計	5,962	6,650
営業外費用		
支払利息	128	171
為替差損	—	1,858
その他	23	13
営業外費用合計	151	2,042
経常利益	16,153	18,717
特別利益		
固定資産処分益	1	2
補助金収入	94	286
受取保険金	90	85
特別利益合計	185	373
特別損失		
固定資産処分損	153	97
固定資産圧縮損	5	7
投資有価証券評価損	2	—
災害による損失	37	—
環境対策費	468	—
特別損失合計	665	104
税金等調整前四半期純利益	15,673	18,986
法人税等	4,253	4,230
四半期純利益	11,420	14,756
非支配株主に帰属する四半期純利益	357	277
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,063	14,480



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	11,420	14,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	284
為替換算調整勘定	687	△28
退職給付に係る調整額	13	22
持分法適用会社に対する持分相当額	604	3,624
その他の包括利益合計	1,409	3,902
四半期包括利益	12,829	18,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,320	18,376
非支配株主に係る四半期包括利益	509	283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	82,145	18,533	100,678	5,657	106,334	—	106,334
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	21	22	2,917	2,938	△2,938	—
計	82,146	18,553	100,700	8,573	109,273	△2,938	106,334
セグメント利益	10,372	676	11,048	518	11,565	△1,223	10,342

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,223百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注) 1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注) 3
	農業及び 農業関連 (百万円)	化成品 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	106,763	16,598	123,361	7,035	130,395	—	130,395
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	44	46	3,052	3,098	△3,098	—
計	106,765	16,642	123,407	10,086	133,493	△3,098	130,395
セグメント利益	14,533	314	14,847	609	15,456	△1,347	14,109

(注) 1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、発電及び売電事業、建設業、印刷事業、物流事業、情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,347百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。